

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
**実施報告書【課題実践校用】**

学校番号	26
学校名	富山県立新湊高等学校

学校の現状と課題	新湊高校を応援したいという、地域住民のご理解とご協力を得ながら、学習活動や部活動に精力的に取り組んでいる。生徒達の感性を刺激することで、より主体的に様々な活動に取り組む能力が向上すると思われる。	
テーマ(特色)	地域に根ざしたグローバル社会を見据えた、優れたコミュニケーション能力と豊かな感受性の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	学校祭関連行事について本年度は、芸術鑑賞会、クラス対抗の合唱コンクールおよび文化活動発表会を行う予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、9月の第2週までは夏季休業を延長するなど、感染症拡大防止を第一に考えざるを得ない状況であった。芸術鑑賞会は前年度と同様に周辺の中学校生徒や希望する本校生徒保護者の招待を中止し、市松模様の座席配置をした上でなんとか鑑賞会を実施することができた。また、文化活動発表会では、7月中の計画では、感染症対策を十分に施した上での合唱コンクールの開催を予定していたが、生徒会の意見等も集約した結果、本年度は合唱コンクールを中止とし、ステージ発表は部活動の発表や生徒会企画を行った。また、廊下や階段の踊り場に半月程度生徒の作品を展示し、本校の生徒のみにじっくりと鑑賞してもらうことにした。特別活動や感染症対策については、生徒会を中心として、より主体的に関わり、判断する能力の育成が図られた。	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>○芸術鑑賞会 市松模様の座席配置をした上で、実施した。実際に生徒達が参加する場面も設けられ、生徒達は積極的に参加し、プロジェクションマップとダンスの融合の楽しさを実感していた。</p> <p>○クラス対抗の合唱コンクール 生徒会が主体的になって、準備場所の決定や、その際の感染症対策のルール策定など、主体的に考えていたが、8月の感染爆発を受けて、本年度は中止するという決定をした。</p> <p>○文化活動発表会 感染症拡大防止を第一に考えざるを得ない状況であったため、当初の計画では、保護者を含め外部の方の鑑賞も感染症対策を十分に施した上で予定していたが、合唱コンクールと同様に、生徒会が中心になり生徒の意見を集約した結果、本年度は、保護者等外部の方の参観を取りやめて、ステージ発表を行った。また、廊下や階段の踊り場に半月程度生徒の作品を展示し、本校の生徒のみにじっくりと鑑賞してもらうことにした。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	特別活動行事に対して生徒達は、生徒会を中心に主体的に計画し、実行した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、先生方の意見や他の高校や中学校、小学校等も参考にした上で、当初の計画通りそのまま実行しようとするのではなく、その時点での最善策を常に模索し続けた。結果的には、地元の皆さんとの直接的な交流を図る機会は少なかったが、新型コロナウイルス感染症が拡大した場合のように対応すべきか、という予想の難しい課題に対して、正しい情報を集め、先生方の助言も参考にしながら、生徒全体の意見を集約し、すべての生徒が満足できる特別活動を行うことができた。生徒達は今後、様々な予想のつかない課題に対応する能力を高めたといえる。	
対象者(学年・人数など)	芸術鑑賞会、文化活動発表会 全校生徒474名	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	文化活動発表会および合唱コンクール計画・準備
	8月	
	9月	文化活動発表会および合唱コンクール計画・準備
	10月	芸術鑑賞会および文化活動発表会
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	